

日本地球化学会 2010 年度第 2 回評議員会議事録（メール審議）

評議員会において 4 件のメールによる審議をおこなった（審議期間：6 月下旬から 7 月上旬）

1. 「地球化学」論文・総説の pdf 版を公開すること（1968 年から 2004 年までを pdf 化する）について審議，採決した。以下の 2 点が，検討すべき事項であった。

a) 学会員以外の閲覧について提案：最近 2 年間分は会員限定にし，非会員の方は有料とする。理由：今後の会員数増を考えた場合，全部無料の方がすっきりしているとも思われるが，直近 2 年間であれば，それを見たくて会員になる人はそれほどいないと判断した。一方でこれまで会員だった人が，誰でも全部タダで見られるとなると，会員であることのプレミア感が薄れたと感じて，会員をやめてしまう人が少しはいると判断している。

b) 電子化のサイトをどうするか提案：CiNii（国立情報学研究所電子図書館内）を利用する。理由：CiNii は公開に関する手数料などの料金は無料であり，検索機能もあるので，サーキュレーションも高まる，会員のみが閲覧できるようにするシステムもサービスに付帯している，など，便利でコストがかからず，有用であると判断した。なお非会員も無料で落とせる分については，これまでと同様に地球化学会の HP からダウンロードできるようにする。

2. 財政問題 WG からの GJ の出版についての提案（科研費の助成に頼らない GJ の出版をおこなうべきである，科研費の申請はおこなわない，出版社に GJ 出版およびその販売を委託する，そのために Editorial board と Copyright は学会側にとりという条件で，出版社各社と話し合いを始める）を審議し，承認された。

3. 学会賞等選考委員会（鍵委員長）からの各賞授賞候補者の推薦を受け，審議した結果，日本地球化学会奨励賞を福土圭介会員に，日本地球化学会賞を鈴木和博会員に，柴田賞を角皆静男会員に授賞することが承認された。

4. GJ 論文の DOI 付与を迅速化するために，J Stage CrossRef の DOI 付与サービスから離脱することについて，審議し，承認された。

（庶務幹事・三澤啓司）